

花まるたより

2026
104

Hanamaru
Monthly
Newsletter

高濱 コラム

花まる学習会
高濱 正伸



2026年
4月

見えない真実

花まる学習会は、35回目の春を迎えることになりました。振り返れば、最初に花まるの開催を認めてくださったのは幼稚園の園長先生方でした。ゼロイチの起業の立ち上げ期の厳しさをさまざま見てきたいまとなっては、何の実績もない私の言葉を受け入れてくださった先生方には、感謝しきれないほどの御恩を感じます。そして入会を決めてくださり、試行錯誤を繰り返す状態であったにもかかわらずお子さまを預けてくださった保護者のみなさまにも頭が上がりません。お世話になったすべてのみなさまに心からお礼を申し上げます。本当にありがとうございます。

現在は、花まるの「教育としての中身」自体は変わりませんが、次の時代にも世

界から受け入れられつつけるように、経営のプロフェッショナルに入ってもらって厳しいアドバイスをいただき、事務や経理などの基幹システムから人事制度まで、ほぼあらゆるフェイズで「会社としての改革」をしている最中です。このことは、みなさまにもご心労やストレスを与えてしまうかもしれません。それは、教育者ではあるけれど経営者としては直観に頼りすぎる甘い部分があった私の責任です。申し訳ありません。社員が輝き、活き活きと授業をし、お子さまや保護者のみなさまに喜んでいただくための改善のときなのです。ご理解とご協力賜りますようお願いいたします。

さて3月にかわろうとする頃、いまをときめくイロン・マスクの一文が翻訳されてバズっていました。それはAーの登場と進化によって何がどう変わるかというテーマで、一言でいえば「博学に意味はなくなり、良き問いを立てる能力こそが求められる」というものでした。以下、要約です。

歴史上最も価値あるスキルが、姿を変えた。何世紀の間「一番賢い人」とは「最も多くの答えを持っている人」だった。Aーは博学競争の条件を平等にした

のではなく「競技場そのもの」を焼き尽くしたのだ。ポケットにある超知能が、あらゆる問いに即座に完璧に無料で答えられる。次世代の勝者を定義するのは「何を知っているか」ではない。「何を問うべきか」と思いつくかだ。伝統的な教育は、何十年もかけてあなたに「答えの暗記」を強いてきた。しかしAーは一夜にして、その努力を時代遅れにした。人間の価値はもはや「知識」には紐づいていない。「どの問題が解決に値するか」を見極める「判断力」に紐づいているのだ。これこそが、機械には埋められない溝である。なぜなら、正しい問いを立てることとは単なるスキルではなく、「世界観」そのものだから。そこには「センス」や「直感」が必要。誰もが眺めている景色を見て、誰もが問い直そうとしなかった「一つの真実」を見抜く力が必要だ。

すべてを知っている機械に対して「正確で正しい問い」を投げける術をマスターすれば、あなたは何だつて作り出すことができる。スキルとは「知っていること」ではなく、「何を問うべきかを知っていること」であり、それが、最後に残された「人間ならではの優位性」である。いまや、答えは無敵だ。無料で、即座に、地球上の誰もが平等に手にすることができ。あなたと、次の偉大な企業を作り

おすすめの 書籍

『子どもを勉強好きに変える 親の習慣』

高濱 正伸 著
(永岡書店)



「何度言ったらわかるの!」「○○ちゃん是可以るのにこの子は……」「パパッとやんなさい」——ついつい、これらのような言葉をかけていませんか? 子どもを勉強好きに変えるには、生活や遊びのどれもが「学び」につながっているということ、そして「知る」ことのおもしろさを、親が子どもと一緒に体験しながら、教えてあげることが大切です。

『3万人の親子に寄り添ってきた スクールカウンセラーが伝えたい 10代の子どもの心の守りかた』

普川くみ子 著
(実務教育出版)



思春期の子に悩む親に推薦する1冊。『親はアテにならない』と見切りをつけ、自分の力で道を切り拓けるようになっていくのなら、それは理想的な状態』という一文に、信頼できる経験総量とバランス感覚を感じる。

高濱の本棚

上げる人物を分かっ唯一の壁。それは「問いの質」にほかならない。問いこそが、すべてなのだ。

驚いたのは、このことに私が尊敬しフォロワーしている何人もの「すごい人たち」が、鵜呑みにする形で賞賛を送っていたことです。なぜ驚いたかというところ、私自身は「あのー、花まるはこのことを35年も言いつづけてきたんですけれど」という気持ちで読んだからです。花まるをつくった時点で問題意識だったのは、なぜ加減乗除のような「作業」のお教室に行く人たちがいるのかわからない。そんなの学校で授業を聞いていればできるし、進学校の高校にでも行けば全員満点で差がつかない基礎。それよりも入試においても社会に出ても圧倒的に差がつく「思考力」育成にこそ、力を入れましょうよ、ということでした。

そしてその思考力とは何かについて、処女作の『小3までに育てたい算数脳』（エッセンシャル出版社）に「見える力」と「詰める力」として明示しました。「見える力」とは、本質・問い・要点・課題・解決策・補助線・立体の裏側・人の気持ち・自分の心などなど、実際には見えなくても肝心なことがありありと見えるように感知できる能力のことです。また「詰

める力」とは、課題や構想、アイデアが見えたあとに、現実には複雑でタフな入試や仕事上の問題などを最後まで「論理的に正しく」「めげずにやり切る」力のことで。これらは入試の世界では特に算数・数学で顕著に差がつくので、「なぜパー」として具体的な子どもが取り組むパズル群として提案しました。これはのちに書籍化もできて累計100万部を超えるロングセラーにもなったし、弟子の川島慶によって「シンクシンク」として世界中で何百万人もの子どもたちが取り組むようになったことで、一定の証明はできたと感じています。

また、子どものその「見える力」や「詰める力」を伸ばすのは、生活体験だし遊びの質なのだ、なかんずく自由で主体的な自己決定のある外遊びなのだとして、宮々とサマースクールをはじめとする野外体験を継続してきました。これものちのち、さまざまな論文等でエビデンスが出ることになったし、知の巨人である養老孟司氏をはじめとする傑物が集まって2年前に書かれた書物が『子どもを野に放て！ A1時代に活きる知性の育て方』（集英社）であるなど、時代が理解してくれる段階になってきたと感じています。

さて、イーロンの意見への見解に戻ります。彼は「知識偏重の時代が終わり、優れた問いを立てられる能力こそが大切な時代になった」という趣旨のことを書いています。私に言わせれば、確かに博学で知識が多いことを生業にできる分野がいくつかあったことは確かだし、これからの価値は徐々に低下していくことはその通りだけれども、そもそも「問いがよりクリアに『見える力』によってこそ、「できる人」と「そうでない人」の差がいつの時代もずっとつきつづけてきたのです。そしてA1によって必要な知識が即座に調べられる時代であってこそ、「見える力」の有無によって、もともとついていた格差がより広がるだろうということです。

では「どうすればわが子のそのような能力を伸ばせるか」については、遠く近い将来にまとめて発表しますが、いま重要なのは、生活の質・遊びの質・経験総量・言葉の環境・どんな大人と接するか・心をとらえる感性とだけ言っておきます。「問い」はもちろんのこと、いまこそ「見えない大事なもの」の価値は見失わないようにしたいですね。

「大切なものは目に見えない」
サン＝テグジュペリ 『星の王子さま』

高濱 正伸 × 安浪 京子氏 講演会



中学受験をするか迷ったら最初に知ってほしいことや中学受験をしないという選択肢の現実について、中学受験について真正面から語り合います。



お申し込みはこちら！

相澤 樹 講演会



行き渋り・不登校という状況を「問題」ではなく子どもが次の成長段階へ向かうサインとしてとらえ、家庭でできる具体的ななかかわり方をお話します。



お申し込みはこちら！



F 年長さんの ドキドキお泊まり王国



親子を離れて大冒険！ 遊びの準備も眠るのも、「自分でできた！」が未来の自信を紡ぎ出す！

NEW!



G 小学生の(中学生も) 1泊花まるサマースクール 秘密基地編



一泊でも作れちゃう！ 森の奥にある、自分たちだけが知っている隠れ家だ！



H 小学生の(中学生も) 1泊花まるサマースクール H: 関東エリア I: 関西・中京エリア



川遊びに花火にサムライ！ 人気の遊びが大集合！ さあ、一步踏み出す夏にしよう！

が は じ ま る よ !

花まる教室長がおすすめコースを大解説！



M 秘密基地作りの国



草や枝で作った屋根にブランコも！ 森のなかで描いたワクワクを仲間と一緒に作り上げよう！



N 森遊びの国



森をまるごと制覇しちゃおう！ ひらめきひとつで森が遊び場に。あの昆虫にも出会えるかも！



O 火おこしの国



火を生み、火で作り、火を味わう。仲間とおこした火で、心も熱く燃える夏を！



T 夏休み港町大作戦

※使い捨てカメラ持参



レンズ越しに見る海、山、町。キミは何に感動し、幸せを感じるか。さあ、町探検に行こう！



U 高濱先生と行く 修学旅行

小6以上



高濱先生と遊び、茶道や戦争史跡から学び、語り合い……。一生モノの夏を仲間と作ろう！



E 親子で V 究極の野外体験

小6以上

無人島サマースクール

集合：R 福山駅(広島県)



「ない」からこそ見てくる。五感、ぬくもり、そしてまだ知らない自分。



…現地集合・現地解散



…大リュック往復宅配



…宿泊を伴う花まるの野外企画に2回以上参加経験がある方が対象です



A 年中さんの (群馬県倉湖村) **B** 年中&年長さんの (奈良県曽爾村)

親子でサマースクール

シドニーがおすすめ!



鈴木 和明

川遊びにキャンプファイヤー、カレー作りも楽しめる！
親子でやるから楽しさ倍増！



C 親子で大自然で遊ぼう (山梨県北杜市)

かみ〜がおすすめ!



宮阪 太久哉

五感を使って、川遊び・火おこし・キャンプメシを満喫！ 家族の絆がさらに深まる二日間！



D 親子で港町で遊ぼう (千葉県富津市)

かゆるがおすすめ!



松浦 加奈

海釣り&なぞときに挑戦！釣った魚はいただきます！
家族で一致団結する夏に！

コースの詳細は「サマースクール2026」のパンフレットをご覧ください。

サマースクール



J 川遊びの国 越後湯沢エリア

スナイワがおすすめ!



小林 駿平

きれいな川で、生き物探し、水かけ、天然のウォータースライダー！ 川での遊びは無限大！



K River探検隊 小3以上

はなびがおすすめ!



柴 健太

3年生以上限定の特別コースは、挑戦がいっぱい！ ともに雄大な川のゴールを目指そう！



L 川遊びの国 紀北町エリア

かっしーがおすすめ!



榎本 衣里

魚と泳ぐ天然の水族館！ 奇跡の清流・銚子川で仲間と挑戦の夏を楽しもう！



P サイエンス王国 2026年夏のテーマは「水」！

マインゴがおすすめ!



宮崎 香純

ワクワクする実験ばかり！ 科学の不思議と考える楽しさのみんで見つけにこう！



Q サムライの国

ファイヤーがおすすめ!



眞浦 健治

刀を手に集え。百人超の本気が天下を動かす、湯沢の大合戦。川遊びも満喫しよう！



R**S** わくわくアドベンチャー R:関東エリア S:関西・中京エリア

かいたがおすすめ!



高橋 大輔

100人鬼ごっこ、秘密基地(R)/火おこし体験(S)、カレー作り川遊び！ 夏のワクワクをすべて体験しよう！

サマースクール 持ち物 大解説!

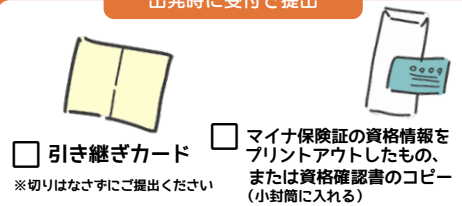
大冒険に必要な物を集めました!
服や小物は、普段使いの物で十分です。
自分の物だとすぐにわかり安心して使えます。

当日、身につけてくるもの



- 帽子
- 名札
(左肩につける)
- 運動靴

出発時に受付で提出



- 引き継ぎカード
 - マイナ保険証の資格情報を
プリントアウトしたもの、
または資格確認書のコピー
(小封筒に入れる)
- ※切りはなさずにご提出ください



- 小リュック



- お弁当
(使い捨ての容器)



- 水筒



- 除菌シート



- 熱中症予防の塩あめ
or 塩系のおかし (個包装)



- 常備薬
(小分けにして服用する
タイミングを記載)
・健康調査票または引き継ぎ
カードに詳細を記載してください



- おやつ (500円分程度)



- ハンカチ・ティッシュ



- レインコート



- マスク (2~3枚)



- 筆記用具・下敷き

- レジャーシート



- フェイスタオル



- ビニール袋 (2枚)
(エチケット袋)



- 歯ブラシセット

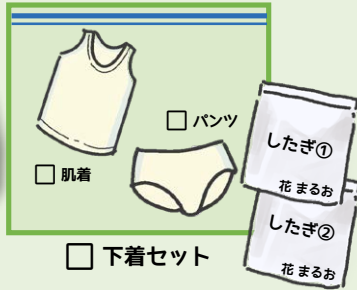


- クシ



40~50ℓくらいの
大きさがおすすめ!

- 大リュック (宅配可能)



- 下着セット



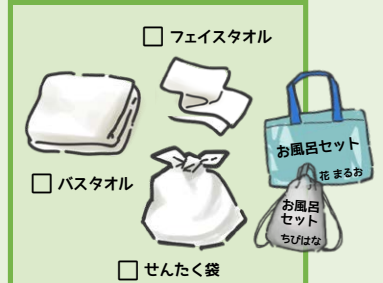
- 水あそびセット
(ラッシュガードは任意です)



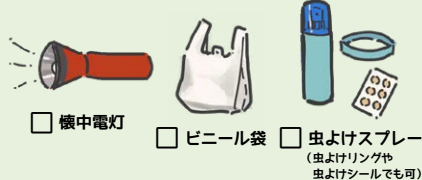
- ねまき (パジャマ)
- 長袖・長ズボン
(防寒・キャンプファイヤー用)



- 半袖
- 長ズボン
(or 半ズボン+ハイソックス)



- お風呂セット

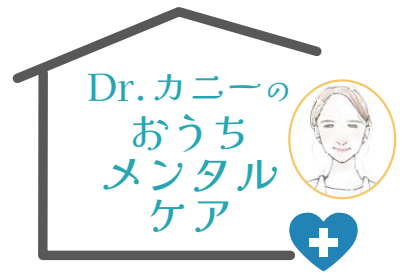


- 懐中電灯
- ビニール袋
- 虫よけスプレー
(虫よけリングや
虫よけシールでも可)

※ 上記以外に、日焼け止め・プラスチックケースの虫かご・冷感タオルなどの
持参を希望される方は、ご自身の責任で管理をお願いします。

- 洋服セット

※ コース特有の持ち物があります。
詳細は参加要項 (7月上旬に郵送) をご確認ください。



Dr.カニーの
おうち
メンタル
ケア



蟹江 絢子

児童精神科・精神科・心療内科あじさいクリニック院長。二児の母としての経験も活かし、日々の生活や子育てに役立つ情報を発信中。著書は『対話の科学 親子編 子どものころを強く成長させる33のセオリー』（こころのサイエンス文庫）あじさいクリニック公式サイト▶



今月のお悩み 「小2女子」

はじめての場所や挑戦に不安を抱きがちです。親はどんなサポートができるでしょうか。

初めての場所や人、体験などに強い不安を感じる子がいます。習い事の体験教室に行っても泣いてしまったり、挑戦する前に気持ちがいっぱいになってしまったり…。親として「無理はさせたくないけれど、背中を押すならばどのタイミングがいいのだろう」と悩ましく感じることもあるでしょう。

不安は自分を守る大切な感情

不安は決して悪いものではありません。未知のことやコントロールできない出来事が起こりそうなき、心が「気をつけて」と警告しているのです。テスト前に不安を感じて準備をしようと思えるように、不安は本来、自分を守り、将来に備えるためのエネルギーでもあります。また、未来に向けた想像力があるからこそ、ちゃんと振る舞いたいという責任感があるからこそ、不安を抱きやすくなります。

「不安を感じてもきつとやりたいことができる」と信じる力を育てる

不安が強い子へのサポートで大切なのは、「不安を感じても大丈夫」「怖くても自分ではできる」と信じる力を育て

ることです。親がかかる言葉はとても大きな支えになります。

・「それは不安だよね。でも、きつとできるよ!」
・「怖いと思うけれど、前にも頑張れたよね」
・「不安に思っていることが本当に起きる可能性は低いかもしれないね」
といった言葉は、不安を受け止めつつ、それを乗り越えてやりたいことに挑戦する勇気に気づかせてくれます。

挑戦する姿勢を褒める

日本人は、まじめさや几帳面さを褒めることが多いですが、「挑戦する気持ち」「勇敢な気持ち」「立ち向かおうとする気持ち」「自分を奮い立たせたこと」を褒めることは少ないように思います。お子さんの不安が強いと感じたら、「勇気を出したことを意識して褒めるのがポイントです。」

・「挑戦してすごいね!」
・「勇気を出せたね!」
・「結果よりも、やってみよう!と取り組んだことが素敵だよ!」

こうした声かけで、「やってみることが大事」「失敗からも学べる」という価値観を少しずつ伝えていきましょう。

少しずつ慣れるステップをつくる

不安に立ち向かうコツは、「いきなり大きな挑戦」をするのではなく、「小さな一歩」から始めることです。

・習い事の会場の前まで行ってみる
・会場に入って5分だけ見学する
・親と一緒に最初の挨拶だけしてみる
こうした段階を踏むことで、小さな成功体験が積み重なり、「自分は大丈夫」という自己信頼が高まります。ここで重要なのは、最初のハードルは低く設定し、成功するようにすることです。「10分いられそう」と親が思ったとしても「5分いるようにしてみよう」と伝え、「5分いられたね!」と肯定しましょう。

また、親と一緒にいったときも、「次は一人でできそうだね!」と伝えておくことが大切です。親がいても、「自分一人でもできそうだね!」と思えることが重要です。

お子さんが「やりたいことをやれるようになる」ためには、不安をなくすのではなく、「不安と付き合いながら挑戦できる力」を育てることが目標です。親が安心の基地となり、少しずつ背中を押すことで、お子さんは不安を抱えながらも前に進む力を身につけていきます。



こんげつ

今月のレインボータイム

【○個ぶんのひろさ】

それぞれの図形に赤くぬられている基本の形があります。


その形が何個入る広さなのか考えましょう。

ただし、いくつかの小さな形をあわせて基本の形1個ぶんになることもあります。

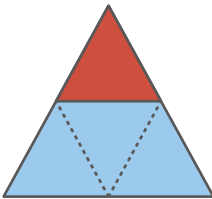


花まる
学習会

出題：水口玲
(しみずみ)
はな がくしゅうかい
(花まる学習会)

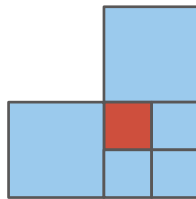
例: 

例



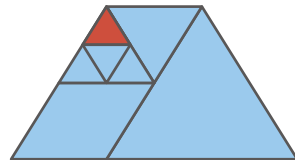
4 個

レベル5



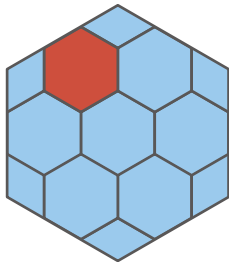
個

レベル10



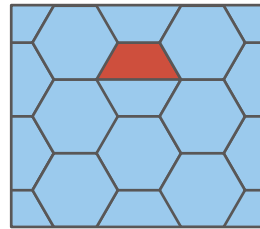
個

レベル30



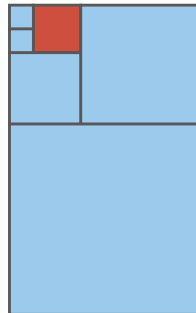
個

レベル50



個

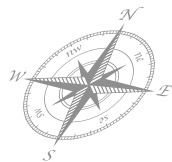
レベル90



個

今どうしてる？

卒業生物語



花まる学習会・スクールFC卒業生のその後に迫ります。
第37弾は、2年連続で箱根駅伝等を運営する関東学連の幹事長を務めた、伝説の卒業生にインタビュー！

ようこそ先輩!!



次呂久直子さん

【花まる学習会】小1～小3
【スクールFC】小3～
*担当教室長：高濱正伸 ほか
【進路】開智未来中学校→加藤学園 暁秀高等学校→東海大学
【現在】スポーツ関連企業勤務

高 4年生まで2年連続で務めるなんて、とても珍しいのでは？

次 関東学連の約110年の歴史のなかで、3人目と聞きました。

高 おお。運命だな。

次 3年生の一年間は、右も左もわからず手探りでした。

高 その経験が翌年に活かしたんだね。

次 ほとんどの役割は一年間担当すると次の代へと引き継ぐので、自分の手でブラッシュアップする機会はありません。

高 4年生で臨んだ箱根駅伝2026予選会の結果発表、報道陣の前で落ち着いていたもんなあ。

次 2回目でどんなステージかを理解していたので余裕がありました。でも、やはりものすごく緊張しました。

高 そうだよなあ。それを務めあげたのだからさすがだよ。

■花まるの思い出

高 花まるの授業、覚えている？

次 どの教材も遊びの延長のような感

覚で取り組めたのでとても楽しく、宿題も苦ではありませんでした。なかでも印象深いのはキューブキューブです。

高 嬉しいなあ。

次 先生方が頑張ったことに気づいて、やればやっただけ褒めてくださるのが嬉しくて、いつも全力でした。自分のファ

イルにMVPシールが増えていくのも嬉しかったです。

高 楽しみながら実力を磨いていったんだね。直子にとって、花まるとは？

次 「戻りたいと思える場所」です。高校生リーダーとして戻らせていただけ、本当に嬉しかったです。

高 嬉しいよ。後輩である花まるっ子のみんなへ伝えたいメッセージはありますか？

次 私は自分の気持ちを大切にしてい

わくわくする道を選んできて本当によかったと思っています。迷ったら、誰かの正解にとらわれずに心躍る道を選んでほしいと思います。

高 そういって道でこそ人は輝けるんだよなあ。

■これからのこと

高 これからどうしたいの？

次 いずれはスポーツを通じた「まちづくり」に携わりたいと思っています。子どもから大人まで、スポーツをもっと身近に感じて気軽に楽しめる世の中にしたいです。そのためにも、これからもっと広くスポーツにかかわって知識を深めていきたいと思っています。

高 素晴らしいなあ。応援しています！

次 ありがとうございます！

関東学連幹事の活動を始めたきっかけやお母さんのことなど、続きはこちら！





アウト・ドア。それは、家の外ではなく、安泰の外。コンフォートゾーンの内側で冒険が眠りつくとき、ドアは現れる。しかし、思い切ってドアの外に踏み出せば、そこにはきっと人生を変えてしまうような「何か」——「すてきなサムシング」が待っている。これは、職人がアウトドアで見つけたサムシングのレポートである。



サムシング⑤ 「ラボーターボラ」(楽しい食卓)

先輩の結婚祝いにイーゼルを作ったことがある。そのお礼にと、後日ホームパーティーに呼ばれた。旦那さんがベトナムの方だったこともあり、料理はすべてベトナムの家庭料理だった。私が春巻きをムシヤムシヤしていたとき、その旦那さんが言った。「あなたはベトナムの人みたいに見えるね」。そのとき私は春巻きに包む具材を勝手にアレンジしていた。手巻き寿司感覚で食べていたのだが、お手本通りではなく好きに具を組み合わせているところが、まるで本国の人のように見えたというところらしい。「創造力があるんですね」と言われて、私は嬉しくなった(そしていまだにその思い出を口の中で転がす)。創造とは、既存の要素の新しい組み合わせにすぎないという。そういう意味では、料理は創造とほぼ同義だ。

話はファミリレストランに移る。私は三つの料理を注文している。タラコスパゲッティ、粉チーズ、ムール貝のオープン焼き。料理を待つあいだはドリンクバーで楽しむ。紅茶とソーダを3..7の割合でまぜると爽やかなティーソーダができる。席を立ったついでに、おしぼりと塩とブラックペッパーのミルを取ってテーブルに戻る。そしてソーダを飲みながらテーブルにある間違いない探して待つ。7つ見つけたあたりで先に運ばれてくるのはスパゲッティとチーズだ。ムール

貝はまだオープンの中にいる。すべてが揃うのを待つのは、スパゲッティの温度が下がるのでおすすめしない。スパゲッティの熱が高いうちにチーズをすべて入れてしまおう。ざっくりと全体をまぜると、余熱でチーズがほどよく溶ける。この状態でも十分おいしいが、そのままムール貝を待つ。成功には忍耐がいるものだ。さて、ここでひとつ注意がある。空いたチーズの皿を下げられないようにすること。あとで使うからだ。合理的なマニュアルで鍛えられたスタッフは、一度ホールに出ると手ぶらではキッチンに戻らない。このタイミングでチーズの皿を下げられないように気をつけよう。

やがて、オープンで焼き上がったムール貝が届く。スタッフさんにお礼を伝えたら速やかに作業に移ろう。まずはおしぼりを使って焼きたての貝殻をつまみ、スプーンですべてのムール貝をスパゲッティの皿に移す。貝殻はチーズの小皿へシユート。殻入れとして使うわけだ。次はヤケドに注意。おしぼりは4つ折りをおすすめする。熱々の皿を持ち上げて、中に残ったオイルを手早く掻き出して

スパゲッティにかける。これで山は越えた。全体を軽く和え、仕上げに塩とブラックペッパーで味を調える。これで完成。さあさあ、始まりだよ。

フォークを口に入れる前から味が始まる。まずブラックペッパーの香りが届く。時間差でかぐわしきソースの香り。口に入れるとタラコソース、生クリーム、チーズが調和したコクの三重奏。それをガーリックオイルの風味が包み込み、ムール貝が潮気とともにアクセントを加える。いくつもの旨味が複雑に絡み合い、口いっぱい広がる。多めのチーズがたっぷりソースを吸い込み、もったりとした食感を生み出しつつすべてのおいしさを麺にまとわせているのだ。味、香り、食感、すべてが渾然一体となり、うまさも乗算されてニューロンが破裂し、脳が飛ばされる。「まるで味の数え役満や〜」ってわけだ。「それ、彦摩呂かい?」いいや俺だよ。

ドリンクバーをまぜる? 安い料理をありがたがる? そんなことできない!...もしそう思うなら、あなたの前にはドアがある。行こう、アウトドアへ。



完成「幸福」と名付けた。



井岡 由実 (Rin)

Rinコラム

言葉が人格をつくる —「よかったね」で終える

子どもたちと向き合っていると、ふとした一言に、その子自身の背景がにじむ瞬間があります。

ときどき、「それはいいわるだなあ」と感じる言葉に出会うことがあります。否定的に物事を捉えたり、自分のわがままを通そうとしたりして、まわりの人が聞いていやな気持ちになる言葉を、あえて聞こえるように言ってしまう。その奥には、「わかってほしい」「認めてほしい」という、まだうまく言葉にならない切実な願いが隠れていることも少なくありません。

「もうすぐサンタさんが来るねえ。まわりの人が聞いて美しい言葉を使おうか」と一言伝えるだけで、発言に気をつけるようになって子どももいました。あるいはあえて反応しないことで、「褒めてもらいたい」「よりよい自分でありたい」という本当の思いに気づかせていくこともあります。

自分に自信がなく、誰かを見下げることでしか立ってられないのかもしれない。いい子でいようと我慢しつづけてきたことが、思春期に爆発してしまうのかもしれない。「自分だけを見てほしい」「認めてもらいたい」という切なる願いが、ねじれた形で表出することもあります。そう考えてみると、まずはたくさんさんの愛情を注ぐことが先決だと感じる場合もあるのです。

年中コースの思考実験や、アトリエでの創作の時間は子どもたちにとって特別です。作

品はその子の分身。だからこそ、作品を紹介して交わされる言葉は、そのまま心に届きます。「いいね」「おもしろいね」「あなたらしいね」。その積み重ねが、「ありのままの自分でいい」という感覚を育てていきます。言葉によって、その心を抱きしめることができるのです。

花まるは、心を育てる場所です。幼児期に大切なのは、感ずる心を育てること。人格の土台となる心がしなやかであるかどうかは、逆境へのめげなさや、やり抜く力にも通じます。人とのコミュニケーションも、突き詰めれば「相手の心を見ること」にほかなりません。

子どもたちの言葉は、周囲の大人の言葉で映します。私たち大人が、正しい言葉、きれいな言葉、丁寧な言葉を意識して使うこと。人の心は言葉にあらわれます。言葉は心を伝える道具であり、その人の人格や哲学を形づくっていきます。

幼児期の子どもたちは、時間軸をさかのほることが得意ではありません。いまを生きる彼らにとって、出来事の「最後の印象」が、その出来事全体の印象になります。だから、どんな日も最後は「よかったね」で終えたいのです。

どんな失敗をしたとしても、最後に「大変だったけれど、もうスッキリしたね。よかったね」と一言添えてあげる。すると子どもたちは、魔法がかかったかのように「うん」と

うなずきます。「ああ、よかった」という感覚から、自然に「ありがとう」という言葉も生まれます。

つらかった出来事も、最後を「よかった」で終える。その積み重ねが、やがて何かが起こったときにも、そのなから良い面を探そうとする人を育てていきます。

夜、寝る前に、その日一日の「よかったこと」を話して、「おやすみ」で終わってみてください。それが少しずつ、その子の人格を形づくっていきます。

どんな言葉で一日を終えるか。それを選べるのは、私たち大人なのです。



詳細・お申し込みはこちら！



申込締切
4/30 (木) 19:00

5/17日
10:30 ~ 12:00
@お茶の水
花まるラウンジ

対象 年長～中学生
定員 25名 (予定)
参加費 1名 4,400円 (税込)

「ARTのとびら」とは

アーティストの視点と教育者のまなざしで創作と鑑賞を導きます。内容や様子は、子どもたちの「活動の記録」をぜひご覧ください。

花まるリビング

vol.56

サポテン奮闘記は、 家庭の数だけある



Satomi
勝谷 里美
Katsuya

1年生から6年生までの計算教材「サポテン」。主に宿題で進め、年間十二冊。6年間続けると、なんと七十二冊分の積み重ねになります。「前の自分より伸びること」を目的とした仕掛けがたくさんあり、やる気をもって取り組めます。実際、私が教室で担当していた子どもたちも、授業でサポテンに取り組むときは「や

四月、新年度が始まりました。ご入園・ご入学・ご進級を迎えられたみなさま、おめでとうございます。わが家の子どもたちも、新6年生・新4年生・新年中となり、それぞれに節目の年。私自身だけでなく、子どもたちの「花まる歴」もずいぶん長くなってきました。そこで今年度の連載では、あらためて花まるのコンテンツと、わが家なりのかかり方や具体的な事例を中心にお届けしていきます。

るぞー！」と目を輝かせていました。ところが、小学生の親になり、家庭で取り組む立場になってまずぶつかったのが「習慣化の壁」。授業では集団の力で前向きにできて、家庭で継続的に取り組むとなるとまた別の難しさがあります。

長女・長男のサポテン学習を通して感じるのは、「宿題はやるものだ」という大前提はぶらさずに、子ども一人ひとりの性質をよく観察し、理解したうえで、家庭の環境を整えることが鍵だということ。

長女には、最初に「宿題はやるものだ」というところを私が強く押し出しすぎました。もちろんその軸はぶらさないことが大切なのですが、性質の観察が足りていなかった……。『柔らかさ』と『譲れない軸』のバランスを見極められていませんでした。

二人目の長男は、私が加減をつかめたこと、また本人の性質もあり、習慣化までは比較的スムーズに。ところが次にぶつかったのが、「思い立ったらいますぐやりたい」という壁でした。

「やるー！」と思ったら即スタート。でもサポテンのタイムは親に計ってほしい。

急に始める長男と、まだ準備が整っていない私。

「待って待って」と止めると、せつなくのやる気がしぼんでしまう……。思考と行動が同時という、幼児の特性がまだ残っている時期ならではの難しさでした。

打開のヒントは、花まるの年中・年長授業で意識している「導入を導入と思わせない語りかけ」。始める前の準備もふくめて、すでに「サポテンをやっている状態にしてしまうのです。

たとえば、

「いつもの確認いくよー？」
「日付は？」↓「OK！」
「消しゴムは？」↓「ある！」
「背中は一？」↓「伸ばす！」
というコール&レスポンスを入れ、その間にこちらはタイマー準備。最後の「よい、スタート！」は親子で同時に声を出す。すると準備段階から子どもの気持ちも乗り、「いますぐやりたい」という欲求も満たされるようになりました。

これはわが家のほんの一例で、きっとご家庭の数だけ、サポテンとの物語があるのでしよう。続けていると、どんどん新しい壁が出てきたり、一度越えたと

思った壁にまたぶつかったり。でも、そのぶん「継続」と「習慣」の力は確実に積み重なります。

四月から初めてサポテンに取り組んでいるご家庭は、この時期、戸惑う場面もあるかもしれません。「こんなこと聞いていいのかな？」「わが家だけかな？」と思わず、ぜひ何でも教室長にご相談ください。お子さま一人ひとりに合った声かけや方法を、花まるとご家庭で一緒に考えていけたら嬉しいです。

サマースクールの申込時期ですね！



『なつのいちにち』
はた こうしろう 作
(偕成社)

夏、青い空と白い雲を見るたびに、自分がリーダーとして参加した新潟のサマースクールでの何気ない場面を思い出します。この絵本を読んだときにも、まさに、その思い出がよみがえってきました。これまでサマースクールに参加した子にも、今年初めて参加する予定の子にも、ぜひ！



『はじめてのキャンプ』
林 明子 作・絵
(福音館書店)

はじめてキャンプに挑戦する子にはぜひ読んでほしい一冊です。大きい子に負けまいと、果敢に挑戦するなほちゃんに、わが子を重ねて、親も一緒にとるものがあります。

わか家の自由研究

vol.23

バラの自由研究⑥

いないいないばあ



Yushi
榊原 悠司
(バラ)
Sakakibara



4歳の娘、2歳の息子とお風呂に入っていたときのこと。息子の機嫌が少し怪

しくなったので、楽しませようと顔を湯船につけ「はあ！」とやりました。すると二人とも「きやははは！」と弾けたように笑い「パパ、いまの顔を隠すの、もういつかいやって！」「やって！」とせがみます。何度やっても喜び、こちらもそれが嬉しくて何度もやってみました。

楽しませようと思えば自然と「いないいないばあ」「や、隠れて「わっ！」とよやくやっているの、おもちゃなどを使わずともそれで喜んでくれる、特別なことをせずとも顔や姿を見せるだけで一瞬にして子どもは喜ぶものだ、と自分のなかでそれが当たり前のことになっていたと気がつきました。

おもちゃを使わずとも、といえ、昨

年末にこのようなこともありました。

街にイルミネーションが光り輝き、教室の子どもたちの会話にも「クリスマスプレゼント」のワードが出てきた頃。わが子にも「サンタさんに何もらいたい？」と娘に聞くと、娘から「はあば！」と返ってきました。「え？」と聞き返すと「そうしたら、いつでも会えるから！」と無邪気な笑顔で言われ、ふと十年前のことを思い出しました。

突然の母からの連絡でした。

「おばあちゃん、もうあとちょっとかも」入院したときからその心づもりはしていたので、割と淡々と受け止めたのを覚えていますが、会話ができる状態ではなかったのですが、「会っておかなければ」という思いで休みを取って実家のある名古屋へ。母と病院に向かい、ベッドの上の祖母を見つめているといくつもの光景が蘇ってきました。いつも心配して、かわいがってくれたこと、時にそれが疎ましく悪態をついてしまったこと。

高校までは一緒に暮らしていましたが、大学に入って上京すると、一緒にいないしていましたが、帰るといつも喜んでく

れ、「いつまでいるの？」と一回の帰省中に何度も聞かれたものです。そして最後はいつも決まって「もう帰っちゃうの？」「また来るから！」というやりとり。

寝たきりの祖母を見ながらそんなことを思い出していました。面会時間が終わり、立ち上がりました。いつもの「もう帰っちゃうの？」が聞こえてこないことに大きな寂しさを抱えつつも「また来るね」と言って病室を出ました。

名古屋駅で母と別れるとき、「これ」と言って封筒を渡されました。中には現金が。

「おばあちゃんから預かったの。『これ、あの子に渡してやって』って」帰省のたびに「はい、これ」と言ってお小遣いをくれた祖母。いつも「ありがとう！」と気軽に受け取り自由気ままに使っていましたが、このときは手が伸びませんでした。最後の最後までかわいがってくれようとしている祖母からのお小遣い。重みを感じ、簡単に受け取ってはいけないような気がしていました。しかし逡巡したのち、受け取りました。

「またすぐ来る。これ、おばあちゃんに会うための新幹線代に使わせてもらおうわ」と言って。

祖母に会うためにこれを使おう。そしてまた翌週に名古屋へ。

そのときが最期となりましたが、悔いのないお別れができたと思っています。

子どもが起きている時間に帰ると、玄関まで走ってきて飛び跳ねて喜んでくれます。おいしいものを食べたときや、欲しいおもちゃを買ってもらったときなど、嬉しそうにすることは多々ありますが、どれほど素晴らしいものも、好きな人に会ったときの喜びようには敵いません。そのときが一番満たされた顔をしています。いまは、子どもが喜ぶ顔を見たい、喜ばせたいとこちらが思っています。でも、いつかは親離れをしたり実家を出たりと、一緒にいられなくなりそうです。そのときがきたら、逆に「ばあ！」と顔を見せにきてこちらを喜ばせてくれる子であってほしいなあ、といまのうちから思うのでした。

ひらぬまじゅん
平沼純の
たび
旅する読書
vol.77

2025年の児童文学賞受賞作より



『ひき石と24丁のとうふ』

おおにし のぶ お ぶん しゃん
大西 暢夫 文・写真
(アリス館)

第72回産経児童出版文化賞大賞受賞。写真家、映画監督としても活躍する著者による、16年にわたる取材から生まれた珠玉の写真絵本。若手県二戸市、誰もいない山奥でひとり豆腐を作りつづけるミナおばあさん。目が不自由ながらも早朝にひき石で大豆をすりつぶし、沸かして豆乳を絞り、24丁の豆腐を丁寧に作っていく……。「コスパ」「タイパ」がもてはやされる現代だからこそ、ぜひ多くの人にじっくりと時間をとってひも解いていただきたい一冊。



『巨石運搬！
海をこえて大阪城へ』

かまた あゆみ さく
鎌田 歩 作
(アリス館)

第72回産経児童出版文化賞タイヘイ賞受賞。大阪城の石垣に使われたのは、「石の名産地」である瀬戸内海の島から切り出された石。見上げればかりに高くそびえ立つ崖から巨石を切り出し、船に乗せて大阪城へと運んでいく一部始終が、ダイナミックで臨場感あふれるイラストで描かれます。6画面にわたる観音開きで描かれる、知る人ぞ知る、巨石運搬のプロセスをとくにご覧あれ！



『あの空の色がほしい』

かに え あんず ちよ
蟹江 杏 著
(河出書房新社)

第74回小学館児童出版文化賞受賞。絵を描くことが好きな4年生のマコは、ある日、近所の風変わりな家になぜか魅かれ、そこに住む芸術家に絵を習うことに。近所では「変人」と噂され、一筋縄ではいかないその芸術家——吉本先生とマコ、そしてさまざまな人たちとの不思議な交流。自身も画家である著者による、世界や生き方の多様さに改めて気づかされる物語。2025年度中学入試で海城中、サレジオ学院中、大妻中など10校以上で出題されたことも話題に。



『ロボットのたまごをひろったら』

な が つ き ありす さく
奈雅月 ありす 作
酒井 以 絵
(ポプラ社)

日本児童文学者協会新人賞受賞。主人公の巧は、論理と効率性を重視して、友達を必要としない少年。そんなある日、クラスメイトのポヨとテツが拾った謎の箱が、突如ロボットに変身！ 意見が対立しながらもロボットを育てる3人だったが、やがてロボットをねらう大人たちが現れ、ストーリーは思わぬ方向へ……。異なる個性をもつ少年たちが、ロボットを守る大冒険のなかで気づいていく数々の大切なこと。元小学校教諭でもある作者による、新時代の冒険ストーリー。



『ねえ、おぼえてる？』

シドニー・スミス さく
シドニー・スミス 作
原田 勝 訳
(偕成社)

第30回日本絵本賞翻訳絵本賞受賞。『ぼくは川のように話す』(偕成社)『このまちのどこかに』(評論社)などの心に染み入る絵本で一躍有名となり、2024年には国際アンデルセン賞の画家賞を受賞した気鋭の絵本作家が、自らの子ども時代の体験をもとに描いた一冊。新しい町へと引っ越してきた夜、「ねえ、おぼえてる……？」と交互に思い出を語りあう母と子。思い出される記憶の数々と現在の何気ない日常の風景が、光と影の絶妙なコントラストで鮮烈に描かれます。

読書講座
復活!

5/21(木)
10:30~12:00

～ぷっちゃけ、子どもを本好きにするには?～

第1回 本×子育て

@スクールF C用賀校
参加費：500円(税込)

詳細は
こちら



※品切れなどの場合は図書館で探してみてください。



自分の心に問いかける

現在の初等教育の学習指導要領には、「キャリア教育」というものがあります。職場体験をしたり働く人の話を聞いたりして、自分の将来や働くことについて関心を持ち、進んで情報収集に取り組み、人としてのあり方や社会人としての生き方を学びます。

昨年、私はその一環で、花まる教室の近隣小学校の6年生に向け、「職業人の話を聞く」という授業の講師として、自身の職業について話をしました。

講師の依頼をいただいてから当日までの1か月半、何を話そうか悩みました。いまの小学6年生に何を伝えられるだろうか、どんな言葉が必要だろうか。考えつづける日々でした。考えに考えた末、自分の過去もいまも飾ることなく、そのままの思いを伝えようと思えました。

私はもともと看護師を目指していましたが、高校3年生の大学受験を控えた夏休み明け、「私は本当に看護師になりたいの？」と、将来に不安を感じていました。

そんなときに目にしたのが、児童福祉に関する課題を取り上げたニュース。私はそれを見て、ビビッときました。私の未来を変える運命の出会いでした。

「世の中の子どもたちやお母さん、お父さんたちの力になりたい！」

その一心で大学では教育と福祉を学び、いま、花まる学習会にいます。

この経緯を子どもたちにも話しました。子どもたちは、「えっそんな一瞬で!？」と、私の運命的な出会いと決断に目を丸くしていました。

私の幼少期の夢は、パンダの飼育員とパティシエールでした。いまの職業とはまったく異なる業種です。小学6年生の私は、教育者になるなんて1ミリも思っていないませんでした。そうです。将来はどうなるかわからないのです。ましてや、将来やりたいことを急いで決める必要もありません。ただ、将来の夢に限らず、何をするにも決断が必要で、その機会はこれからどんどん増えます。そんなときに大切にしてほしいことを私は6年生のみんなに伝えました。

1. 自分がどうしたいか
2. 幸せか
3. 心が躍動するか

私自身が、何か決断をするときに判断材料としている3つです。毎回これらを自分に問いかけるのです。そのときの自分の気持ちにきつと嘘はないですし、自分を信じて突き進みたいとも思います。

授業後、学年主任の先生からこんなお話をいただきました。

「職業人の話を聞く前、子どもたちに『どうして働くのか』という質問をしました。一番多い返答は『お金のため』でした。先ほど、講師のみなさんの話を聞いた子どもたちの感想を見たところ、『好きなことを追求していきたいです』『楽しいほうに進んでみようと思いました』『いろいろな選択肢があると知りました』などと、書いてありました。お金のためや生きるためというどこか漠然とした考え方から、自分のやりたいことに目を向ける意識が生まれ、『自分の気持ち』にベクトルが向くようになり、視野が広がったと思います。とてもよかったです」

ある一人の女の子はこんなことを言っ

てくれました。「何かに悩んだり迷ったりしたときには、自分の心に問いかけてみようと思います」

私が伝えたかったことをこの子がまとめてくれたように思いました。

子どもたちが将来、自分のやりたいことを見つけれられるようになるためには、たくさんの経験が必要だと思います。そのなかで自分の心にさまざまな種が植えられます。どの種がいつ芽を出すかはわかりませんが、そのときになつたらぐんぐん芽を出せるようになってほしいです。そして、そのためには行動しなければなりません。その行動に必要な「挑戦する姿勢」や「勇気」を花まる学習会で育めるようにサポートしてまいります。

何か挑戦することに抵抗がある子もいれば、自分の思いを伝えることに難しさを感じる子もいます。何事にも積極的な子ももちろんいます。どんな子どもたちにも「自分の心に問いかける」ための声かけを忘れずにいたいと思います。そうやって、子どもたちの「未来の種」に水をあげたいのです。

花まるファミリー

花まるの
教室長を
紹介します!

サマースクールや
雪国スクールで会おうね!

ais All Inclusive School

みんなの教室長も
順番に紹介するよ。お楽しみに!



まっしゅ

いこま はるか
生駒 春佳

東京西 埼玉県



けんしろう

いだ ななせ
井田 七星

ais 神奈川県



ぴー

きよた なお
清田 奈南

神奈川南 神奈川県



たくさん

くまがい たくろう
熊谷 拓郎

宮城 宮城県



ピノ

たかはし あいり
高橋 愛梨

東京西 東京都



バスーカ

つつい かな
筒井 佳菜

千葉・茨城 秋田県



おさる

の だ い つ き
野田 一樹

関西 大阪府



まんまん

たかはま まさのぶ
高濱 正伸

リーダーネーム 名前
OOO 所属
熊本県 出身地

4月の誕生日は さくら



今年も高濱が紹介します!

タカタコ

全国の花まる教室長、約150人をまるっと一年かけて高濱が直接インタビュー! 高濱による他己紹介「タカタコ」で、みなさんの教室長を紹介します。今年「私のふるさと」をテーマに、教室長一人ひとりを深掘りしちゃいます。サマースクールや雪国スクールで会ったリーダーたちも探してみてくださいね!

5月号からスタートします。どうぞお楽しみに!